

# 囃子

能管(笛)、小鼓、大鼓、太鼓の四つで構成され、四拍子と呼ばれています。能の囃子は、三つの打楽器に加え、旋律楽器の能管もリズム主体の演奏を行います。単なる伴奏ではなく、役者と対等にわたりあい、緊張感のある舞台を作りあげる重要な音楽です。



ふえ 笛



おおつづみ 大鼓



こつづみ 小鼓



たいこ 太鼓

# 能面

能面にはとても重要な働きがあります。種類は約60種類と言われ、この世の存在ではない鬼神や怨霊などの役柄の面の他、さまざまな年齢層の女性の面が多くありますが、これは男性の役者が、女性の年齢に応じた美しさを演じるためだと考えられています。



こもて 小面



ふかい 深井



みかづき 三日月



しかみ 顰



しょうじょう 猩々



はんや 般若

# 扇

扇には二つの種類があります。「鎮め扇」は通常使うものです。「中啓」は親骨が要よりも外側に反った形をしており、折りたたんだ時上端が広がります。扇には様々な装飾が描かれています。



かみおうぎ 神扇



しゅらおうぎ 修羅扇



かつらおうぎ 鬘扇



きょうじょうおうぎ 狂女扇



おにおうぎ 鬼扇

# 能装束

能装束は能の精神性と内容を視覚的に表現しています。絹を主な素材とし、多くの装束は重厚な仕立てになっています。精巧で複雑な文様や色調があり、多様性があります。



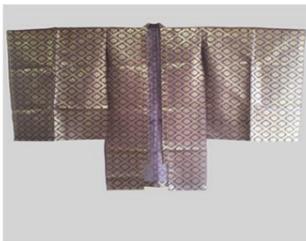
からおり 唐織



あつた 厚板



かりぐめ 狩衣



ちょうけん 長絹

# 鶴亀座 台湾 能楽体験教室



2017年3月16日(木)

台北日本人学校



NPO法人 能楽普及集団

鶴亀座

